



学校教育目標 <<本物の【あかぎの心】を育てよう>>

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

第2学期始業式

第2学期が始まります。夏休みを満喫した子供たちが笑顔で登校してきました。自由研究や工作などの宿題を抱えて登校する表情は晴れやかです。実りのある2学期を過ごせそうな良いスタートの日です。

校長講話では次のような話をしました。

・第2学期は、9月から12月までの4か月間、夏・秋・冬という3つの季節を味わえるステキな学期です。特に秋は過ごしやすい季節です。楽しみな行事や活動もたくさんあります。

・例えば、「長崎くんち(4年ぶり!)」「諏訪っ子くんちフェスティバル」があります。諏訪小ならではの大きな楽しみです。「小体会(6年)」「小音会(4年)」「交歓会(夢・愛・和組)」というたくさんの学校の子たちとの学びの場があります。そして学年に合わせて、見学や他校との交流やゲストティーチャーを招いての学習などが計画されています。とにかく楽しみな2学期なのです。

・この2学期に「本物のあかぎの心を成長させましょう」。ただし、すぐに成長は感じられません。目標に向かってコツコツと続けていくと、ある時点でグンと成長するのです。「本物は、続く」「続ければ、本物になる」のです。

・では「ある時点」とはどれくらいでしょう。経験上、また多くの方が言うには、それは「100日(3か月)」です。つまり、今からコツコツと続ければ12月頃には成長を感じられるはずですよ。

・けれど、続けることは難しいです。なまけ心が出てきたり、意欲がなくなったり、目標を見失ったりすることがあります。そんなときは、次の3つを思い出してください。

- ① 先生を信じる
- ② 仲間を信じる
- ③ 自分を信じる

皆さんの一人一人の成長を楽しみにしています。

野外宿泊学習(5年生)

夏休み期間中(8/1~3)に5年生の子供たちは野外宿泊学習へ行きました。日吉自然の家での2泊3日の体験学習です。

全日程に同行した原教頭がレポートします。

8月1日(火) 学校で出発式を行いました。大きな荷物を抱え、期待に胸をふくらませている子供たち。山崎校長が「命と向き合う宿泊学習にしてほしい」と話し、子供たちは決意を新たにしていざ出発!

バスに乗り、日吉自然の家につくと入所式を行いました。そこでは、「3つの㊦(あいさつ、あと片付け、ありがとう)」についての話を聞き、施設での過ごし方を学びました。



そのあとはお楽しみの「飯ごう炊さん」です。火おこし役、カレー役、ごはん役など、様々な係に分かれて仕事を始めました。初めは戸惑っていましたが、自分たちで考え、相談し、調理を進めていきました。できあがりはまだまちまちでしたが、すべての班が協力して一つのものを作り上げた達成感を味わうことができました。準備から片付け、活動の振り返りまで計4時間の活動でしたが、多くの収穫を得た活動となりました。



食事を終えた子供たちはバスに乗って一路茂木へ。ここでは「ペーロン体験」を行いました。現地につくと、指導者を含めた関係者が20人ほどいて、大きなペーロンが2艘ありました。子供たちは、クラスごとに2つの班に分かれていざ海へ。経験がない子供がほとんどでしたが、まっすぐ前に進んでいます。少し練習した後にクラスごとのレースが始まりました。櫂を使って懸命にペーロンを進める子、そして、丘から懸命に応援する子など、たいへん盛り上がりました。メンバーを交代したあとも、応援の声は鳴りやみません。これがペーロンの魅力であることを、体験を通して学ぶことができました。



日吉に戻った後は、食事、お風呂、反省会を行いました。そこで出くわしたのが、玄関に飾ってあった「月下美人」。なんと、この花が久しぶりに咲いたのです。月下美人は夜開性で一晩しか花を咲かせないことで有名な植物です。それが、諏訪小学校の宿泊学習の初日に当たるとは…。なんと運のいい子供たちなのでしょうか。

8月2日(水) 昨夜は眠れなかった子供もいましたが、気持ちを切り替えて朝の集いに参加しました。その後、朝食を終えた子供たちは清掃活動を行いました。学校で行っている「無言清掃」を別の場でも生かすことができる子供たちは本当に素晴らしいです。



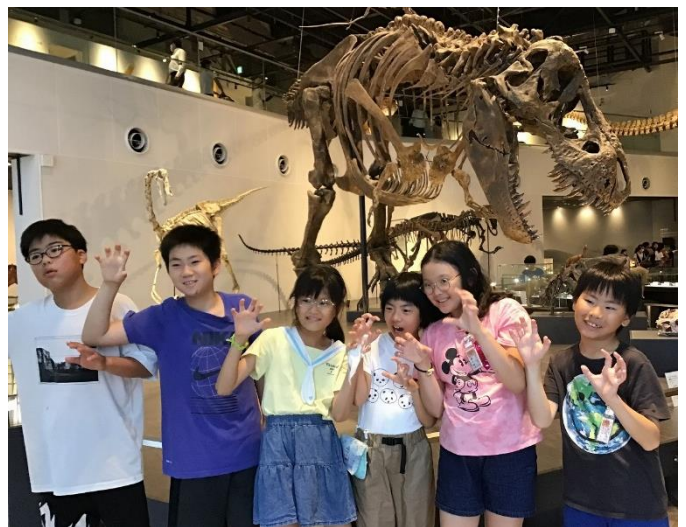
本日のメインイベントは「イニシアティブゲーム」です。グループごとに知力・体力を結集し、8つの課題を解決していく活動です。1つだけ紹介しますと、「日本列島」という活動は地面に足を付けずにレンガの上に立つといういたってシンプルなルールです。しかし、初めは人数分に与えられたレンガが、課題をクリアするごとに1つずつ減らされていきます。そのため、足場を失った子供たちは、おんぶをしたり、片足で乗ったりして力を合わせながら活動をしていきます。

このイニシアティブゲームを通して、子供たちはより一層会話を交わし、協力し合いながら進んでいきました。そして、8つの課題をすべてクリアしたあとは、子供たち同士の関係も近づいていきました。長い時間の活動でしたが、何よりも子供たちの汗と笑顔が忘れられません。

2日目の夜は「やってみろタイム」。この2日間の子供たちの成長をもとに、自分たちで楽しい時間を計画して実践してみるという時間です。クラスごとに話し合っ、ソーラン節をやってみたり、イニシアティブゲームを身体表現で表してみたりと、子供たちのアイデアから自然と笑顔や笑い声が生まれました。この2日間で子供たちの結束が更に強くなったのは言うまでもありません。

8月3日(木) 宿泊学習最終日。朝の集いや朝食の時間は、1日目の反省を生かして、集合時刻を意識して行動しました。清掃活動では、1日目よりも更に手際よく行き、指導員の方からも褒められたほどでした。

午前中は、振り返り活動を行った後に「全員遊び」を行いました。内容は「ドッジボール」や「イニシアティブゲーム」で、もちろん自分たちで考えて実践しました。最後はクラス関係なく頑張る人を応援するという美しい光景を目の当たりにしました。



午後は恐竜博物館の見学です。恐竜の骨格標本やレプリカが多く飾られている部屋はまさに白亜紀の世界でした。標本を見たり触ったりすることで、恐竜の大きさを実感することができました。最後は、ティラノサウルスと一緒に学級写真を撮って、学校へと向かいました。

学校に戻ると、保護者の方や職員が一回り成長した5年生を迎えました。子供たちはきっと疲れていたと思いますが、最後の到着式まで立派な態度で臨みました。

7月に担任と決めた「とことんやりぬく宿泊学習」は大成功でした。9月からの学校生活で更に成長した子供たちの姿を楽しみにしています。

終わりになりますが、宿泊学習に向けてご協力いただいた保護者の皆様に感謝を申し上げます。